

自覚と理解とを促進する」と稱し、争議團婦人茶話會を開催し、京阪の煽動者、  
 争議團幹部等の演説及び遠藤一志妻某の挨拶等あり終り、浪花節の講演あり、  
 午後五時三十分より解散會せり。彼等は會社並に官憲の横暴干渉等を例え、  
 陳説し斯る會社は職工と町民と一致結束し以て之を駆逐せる可からずと論じ、  
 然し彼等唯一の目的たる組合運動の利益を高唱し此際諸姉は自己の夫が解雇せ  
 られたる者と觀念し以て隠忍持久の節を全ふせられん事を望むと論じ去り。

嗚呼危きかな、彼等の甘言は所を乞、産業を破壊し、従業員其家族を餓  
 餓に陥入らしむるも彼等は彼等の主義を大に宣傳し得は足るものあり。

当日の婦人參會者約二百五、六十名なりき。  
 其後、争議團に寄附たる物品、氏名左の如し。

- 一金百貳拾五圓 進用組 一金拾圓 田畑廻漕店
- 一金拾圓 滝菊靴店 一金六圓 染物同業組合(当地)
- 一金 蘆園 飯田守之助 一白米二俵 某女

二日

争議團は於昨日、土生に於て茶話會を開催し、茶話會の會合稍成功せり、以  
 泳日三庄に開催する苦なりしも午前八時過頃迄の雨天の爲め之を變更し、天候回復  
 と共に示威運動をなす事と一致し、午後一時二十分頃争議團本部に集合し、土生、三  
 争議團約四百名は四列縱隊を作り組合旗六流を先頭に、因島理髮同業組合並に其  
 の寄贈する二俵の米、貳斗入以四個とを、或台の前車に積み、皮動歌を唱ひ、  
 午後一時四十分工場表門を承り、其れより大神社前を通過し、三庄町に至り、三庄争議  
 團に渡せり。

- 其後の争議團に寄贈せる品名及び氏名左の如し。
- 一金拾圓 松岡呉服店 一菓子五十斤 山徳呉服店

三日

本日日本労働總同盟松永支部より寄贈の白米四俵、土生丸より到着せるを以て、團  
 六七十名より之を穿き、婦人方歳を三唱し、解散せり。